



ロータリー財団月間

Governor's Message

世界で良いことをするために

国際ロータリー第2750地区 2011-12年度 ガバナー 片倉 章雄



ガバナー公式訪問もほぼ4分の3を終わりましたが、多くのロータリアンの皆さんとお話し、大変有意義なご意見をたくさん伺うことができました。今後の活動に役立たせていただきたいと思います。

さて、去る10月24日に世界ポリオデーのイベントが東京で開催されましたが、今年度はロータリー財団の進める「2億ドルチャレンジ」最後の年です。現在までに約1億9千万ドル近く集まったということです。あと一歩のご協力をお願いいたします。

国際ロータリー財団は1917年、「世界で良いことをしよう」という合言葉から発足しました。「ポリオ撲滅運動」はその代表的プログラムですが、地球上で99%のポリオ菌の撲滅を達成しています。残り1%を撲滅し、地球上からポリオ患者をなくす日まで活動は続けられます。

なお、今年度のロータリー財団は、「2億ドルチャレンジ」を推進するポリオ・プラス委員会のほか、補助金委員会、寄付増進委員会、ロータリー平和フェローシップ委員会、ロータリー財

団奨学・GSE・学友委員会という5つの小委員会で、それぞれのクラブのプログラムを支援することになっています。

特に今回の震災に関して、ロータリー財団は「ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金」を設立し、世界中のロータリアンから400万ドルを上回る寄付を集めました。そのうち、約220万ドルの活用が東日本震災復興基金日本委員会に任せられました。すでに数多くのクラブから支援プロジェクトへの補助金申請が出されていますが、当地区でもひとつでも多くのクラブに参加していただきたいと思います。

また、前年度から引き続き懸案になっていました「東日本大震災に対する義援金」の取り扱いが決まりましたのでご報告いたします。

皆様からの義援金のうち一部をガバナー会へ拠出しましたが、このほどガバナー会として復興支援をするより、地区単位やクラブ単位で復興支援プログラムを組むことのほうが効果的との結論に達し、当地区へも約7,000万円の払い戻しが行われました。前年度残高を加えますと約9,500万円になりますが、地区復興支援委員会を中心に直接支援や各クラブの復興支援事業に役立てたいと考えておりますので、積極的に活用してほしいと思います。

INDEX ※ [3]～[14] は、地区ホームページ(Web)上に掲載しております。

<http://www.ri2750.org/>

[1] ガバナーメッセージ

[2] ロータリー財団月間

[3] 地区行事日程

[4] 地区行事日程

[5] 銀座・日本橋グループ 活動通信

[6] 京浜グループ 活動通信

[7] 山の手西グループ 活動通信

[8] 多摩中グループ 活動通信

[9] 多摩東グループ 活動通信

[10] 奉仕プログラム委員会 活動通信

[11] 広報委員会 活動通信

[12] 委員会紹介
(補助金委員会／寄付増進委員会)

[13] 委員会紹介
(ロータリー平和フェローシップ委員会／R財団奨学・GSE・学友委員会)

[14] 委員会紹介
(ポリオプラス委員会)

[15] 寄付報告／文庫通信／物故

[16] 出席報告／編集後記

ロータリー財団月間

ロータリー財団委員会 委員長 鈴木 義明（東京武蔵国分寺RC）



1917年「世界で良いことをしよう / Doing good in the world」の標語を合言葉に94年の歳月が過ぎ「国際ロータリーのロータリー財団」は、ロータリアンが、人々の健康状態を改善し教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにする事を使命に歩んできました。その中の代表的プログラムとして「ポリオ撲滅」があります。ロータリー財団は、1979年のポリオ撲滅に係わってから、32年間世界から99%のポリオ菌を地球上から撲滅する事が出来ました。これらの達成は、ロータリアン一人一人の貴重な寄付が大きな成果となった証です。

国際ロータリーは、世界の子供たちに約束を致しました、「私たちロータリアンは、世界からポリオが撲滅」するまでこのプログラムは、やめません。

さて、本年度は、私たちが想像も出来なかった大変不幸な災害である、地震・津波「東日本大震災」に襲われました、此の災害に国際ロータリーのロータリー財団は「ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金」を設立し、世界中のロータリアンへ基金の参加を呼びかけました、その結果4,072,252ドルの大変多くの温かい善意の基金が集まりました。

そして、2011年7月1日に「もっと災害を身近で支援しよう」と言う事で、ロータリー財団管理委員会は、「小沢一彦」ロータリー管理委員を代表として「ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金の機能と基金US\$2,211,934.53と伴に「東日本震災復興基金 日本委員会」と名称を変更し直接日本で日本人の管理委員の基、全国ロータリークラブの皆様とロータリー財団と一緒に、熱い心を東北震災支援へ届けるプロジェクトを開始致しました。現在当地区も数多くのクラブの皆様が自クラブの支援プロジェクトへの補助金申請を提出し多くの成果を震災地へ届けております。此のプロジェクトは、2012年度3月31日まで、クラブの皆様と一緒に支援を続ける予定で、当地区の「会長・幹事・社会奉仕委員会・クラブ財団・会員」の皆様、積極的に此のプロジェクトにご参加ください。

EVERY
■ ROTARIAN
■ EVERY
■ YEAR

最後に、クラブ会員の皆様にお願いが有ります、「寄付をするという事は、世界中の奉仕活動に参加していると言うことです」ロータリアン一人一人からの寄付は、世界中で有効に使われています。ロータリー財団は、他の奉仕団体と異なり、全ての寄付を奉仕活動に使われています。そして、貴重な寄付を使って、いろいろなプロジェクトを実行していくのは皆さんロータリアンであり、皆さんの所属するロータリークラブです。是非、有意義なプロジェクトをお考えいただき、「寄付をする」だけでなく「有効に使う」ことも考えてください。

会員の皆様本年度の地区重点目標年次寄付一人100ドル以上・ポリオプラス指定寄付1クラブ1000ドル以上・ベネファクター(恒久基金への寄付)・大口寄付等への参加を是非お願い申し上げます。

ロータリー財団の正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」

2011-12年度 地区行事日程 (11月)

11月 1日 (火)	9:10 ~ 13:30	ガバナー公式訪問 (多摩グリーン・多摩・稲城)	京王プラザホテル多摩
11月 2日 (水)	17:00 ~ 20:30	山の手西グループ IM	ホテルニューオータニ
11月 4日 (金)	10:20 ~ 13:30	ガバナー公式訪問 (町田・町田サルビア)	ホテルザエルシィ町田
11月 4日 (金)	16:00 ~ 17:30	東京iシティRC 加盟認証状伝達式	府中の森 芸術劇場
11月 7日 (月)	14:00 ~ 16:10	東京銀座新RC 東日本震災復興チャリティー講演&コーラス	銀座プロッサム (中央会館)
11月 8日 (火)		ガバナー公式訪問 (町田・中 町田東)	
11月 8日 (火)	18:00 ~	2011-12 第4回 多摩東グループ協議会	京王クラブ
11月 9日 (水)	10:00 ~ 13:30	ガバナー公式訪問 (日野・飛火野)	高幡不動尊
11月10日 (木)	16:00 ~ 19:00	千代田・銀座・日本橋グループ 合同IM	第一生命 本館大会議室
11月10日 (木)	18:00 ~	第3650地区大会 歓迎会	グランドハイアットソウル
11月11日 (金)	12:00 ~ 13:00	第3650地区大会 歓迎昼食会	グランドハイアットソウル
11月11日 (金)	13:00 ~ 18:00	第3650地区大会 本会議	グランドハイアットソウル
11月11日 (金)	18:00 ~	第3650地区大会 RI会長代理歓迎晚餐会	グランドハイアットソウル
11月12日 (土)	9:00 ~ 12:00	第3650地区大会 本会議	グランドハイアットソウル
11月12日 (土)	16:30 ~	東京品川中央RAC 創立40周年 記念式典 17:30~懇親会	グランドプリンスホテル新高輪
11月14日 (月)	15:00 ~ 20:30	地区新会員セミナー・懇親会 (3年以下)	ハイアットリージェンシー東京
11月15日 (火)	9:20 ~ 13:30	ガバナー公式訪問 (八王子東・八王子・八王子北)	京王プラザホテル八王子
11月17日 (木)	9:20 ~ 13:30	ガバナー公式訪問 (青山・目黒・城南)	目黒雅叙園
11月21日 (月)		地区役員会	ガバナー事務所
11月22日 (火)	15:00 ~ 17:00	第五回 復興支援地区委員会会議	三基商事東京支店第2ビル
11月23日 (水)		財団セミナー	
11月24日 (木)		RI会長歓迎晚餐会	
11月25日 (金)		ロータリー研究会	
11月26日 (土)		ロータリー研究会	
11月30日 (水)	13:00 ~ 19:30	多摩東グループ IM	パルテノン多摩小ホール／京王プラザホテル多摩 (懇親会)

※上記の地区行事日程は変更する場合がございます。予め事前にご確認の上、ご参加下さい。

2011-12年度 地区行事日程 (12-2月)

12月 1日 (木)	PBG公式訪問〔～10日(土)〕	
12月 1日 (木) 14:00 ～	多摩南グループ IM	ホテルザエルシィ町田
12月 3日 (土) 18:00 ～ 20:30	米山記念奨学委員会 冬の懇親会	ホテルニューオータニ
12月 4日 (日) 11:00 ～	日本ロータリーEクラブ2650認証状伝達式・祝宴	リーガロイヤルホテル京都
12月12日 (月) 15:00 ～ 17:00	クラブ代表者会議／第1回 クラブ会長会	ロイヤルパークホテル
12月14日 (水) 15:00 ～ 17:00	地区役員会	ガバナー事務所
12月14日 (水) 9:00 ～ 19:00	米山選考試験	ザ・プリンスさくらタワー
12月15日 (木) 16:30 ～ 21:00	東京赤坂RC 創立25周年 記念式典並びに祝賀忘年家族会	ANAインターコンチネンタルホテル東京
12月20日 (火) 15:00 ～ 17:00	第六回 復興支援地区委員会会議	三基商事東京支店第2ビル
12月29日 (木) 18:00 ～	日韓短期青少年交換歓迎夕食会	オリンピック青少年センター
1月 3日 (火) 18:00 ～	日韓短期青少年交換さよならパーティー	目黒雅叙園
1月12日 (木)	2012-13 国際協議会壮行会	目黒雅叙園
1月14日 (土) 12:45 ～ 16:00	東京八王子北RC NEW YEARふれ愛コンサート(助け合う友の和!)	オリンパスホール
1月15日 (日) 14:00 ～ 17:00	新年会(派遣国決定通知)	オリンピック青少年センター
1月15日 (日)	2012年 国際協議会(～21日)	カリフォルニア州 サンディエゴ
1月17日 (火) 18:00 ～	2011-12 第5回 多摩東グループ協議会	未定
2月 2日 (木)	RLI PartII	国立オリンピック記念青少年総合センター
2月 8日 (水) 16:00 ～ 20:00	米山奨学生 期間終了式ならびに歓送会	京王プラザホテル新宿
2月13日 (月)	2012-13 地区チーム研修セミナー	目黒雅叙園
2月22日 (水) 16:30 ～ 18:00	第3回 クラブ会長・幹事会	ザ・プリンスパークタワー東京
2月22日 (水)	2011-12 地区大会	ザ・プリンスパークタワー東京
2月23日 (木)	2011-12 地区大会	ザ・プリンスパークタワー東京
2月28日 (火) 18:30 ～ 20:00	東京恵比寿RC チャリティコンサート	恵比寿ガーデンプレイス内 ザ・ガーデン・ルーム

※上記の地区行事日程は変更する場合がございます。予め事前にご確認の上、ご参加下さい。★青文字は佐久間年度の行事予定です。

銀座・日本橋グループ 活動通信

銀座・日本橋グループの活動

銀座・日本橋グループ ガバナー補佐 平野 熙幸（東京日本橋東RC）

去る7月26日の東京日本橋・東京日本橋西RCの合同例会への、片倉ガバナーによる公式訪問に次いで、しばらくの間の夏休みを経て、いよいよ10月3日(月)にガバナー公式訪問第二弾、東京築地、東京中央、東京中央新の3クラブ合同例会で行われました。

何と言っても、RI第2750地区で最多の会員数(10/3現在215名)を擁する東京中央RCを中心に3クラブの出席会員で、帝国ホテルの「光の間」は溢れんばかりの盛況でした。

事前の各々のクラブ協議会では、この時期としては当然のようにいずれも東日本の復興支援活動についてが、話題の中心となりました。東京築地RCでは気仙沼の鰹を食べて支援しようとか、東京中央RCでは創立25周年の記念事業のために積み立てた3,000万円に、現会員からの200万円を加えて3,200万円を義損金として拠出したいというスケールの大きな支援活動、東京中央新RCは東京赤坂RCと東京南RCとの共同で、陸前高田への松原復興を支援するそうです。

東京中央RCの比較的年齢の若い会員を中心に、石巻を中心にがれきの処理ボランティアで汗を流し、一方高齢の会員はチャリティ活動で経済的にしっかりカバーするという大クラブならではの、広い活動には感心させられました。

合同例会では説明され、ガバナーのお人柄と相俟って例会出席者の多くから、賛同と納得の拍手を受けられました。10月8～9日の被災地視察の実行後には更にガバナー・スピーチの内容に厚みが加わることが期待されました。

3クラブの会長、幹事、会長エレクトの懇談会では、ガバナーのご要望により決して型にはまらず、和やかに意見交換されました。特に東京中央新RCの少ない会員数のなかで、苦勞している例会の卓話者に地区役員、各委員会委員長などの活用をすすめられ、会長以下わが意を得たりの感があったようです。

いずれにしても、ガバナーには今後三分の二以上の日程が残されていますので、くれぐれもご自愛頂きたいものです。



鰹を食べて復興支援・Tシャツも販売（東京築地 RC）



石巻での復興支援活動（東京中央 RC）

京浜グループ 活動通信

1/2,309の東京大森ロータリークラブが挑戦した環境活動

東京大森RC 会長 谷 學

東京大森RCは多くのロータリークラブと同様、5大奉仕活動を同一テーマで継続していますが、すでに新鮮味が欠き新たな感動が得られないマンネリ傾向にあります。このような事情から、当クラブでは2010～11年度に中期計画として、青少年(主に高校生)の環境活動に対する表彰制度の構築プロジェクトをスタートさせました。

4回の準備検討会合を経て、2011年3月、本プロジェクトの実現にはロータリアンの環境意識をより高めることが先決との考えがまとまり、次いで、この実現を図る手立てとして、クラブがエコアクション21(環境経営システム)の認証を取得することを決定しました。

環境活動と言えば、多くの人はCO₂の削減や廃棄物の削減等に目を向けますが、ロータリークラブのように奉仕の理想実現を目的とする組織では、5大奉仕活動にどのような環境要素を組込むかについて、知恵を絞りました。そして、2011年4～9月に5回のエコアクション21セミナーを自主開催する中で、クラブの環境方針がこの6月にまとまりました。

クラブの基本理念として、『私たちは、ロータリーの綱領に基づく「奉仕の理想」実現の一環として、昨今の地球環境問題解決への取組みを、私たちの共通の課題・責務とし、それを実践する』を掲げました。続いて、行動指針の第一番に『奉仕の理想を実現するために、「クラブ奉仕」「地域社会奉仕」「職業奉仕」「国際奉仕」「新世代奉仕」など5大奉仕の側面に、環境保全・保護の活動要素を組み入れ、活動を推し進める』を挙げました。認証取得のための活動期間を2011年6～8月の3ヶ月間とし、活動の成果を9月に環境活動レポートにまとめ、10月初旬に現地審査を受けて、認証を無事取得することができました。

活動の目標は大きく2つあり、一つ目は奉仕活動を支える事務局の環境負荷量(電量消費量、廃棄物排出量、排水量)の把握、二つ目は5大奉仕にそれぞれ環境目標を掲げて活動を進めました。ちなみに、「クラブ奉仕」の環境目標は、『会長が例会時に環境小コメントを少なくとも3回発表する』と、『環境の専門家による卓話を年1回以上実現する』の目標を掲げ、いずれも活動期間内に目標達成の予定です。

「新世代奉仕」では、『東京実業高等学校インターアクト・クラブで環境講座を開設する』を目標に掲げ、これもこの11月に実現の運びです。なお、ロータリー財団のプログラムは、その趣旨から、寄付行為そのものが環境保全・保護活動の実践と言えることから、財団委員会の目標額を一般寄付1,000ドルとしました。事務局の環境負荷量は、2010年度の電力消費量が約5,000kWhで、CO₂換算で約2,100kgでした。仮にこれが第2750地区のクラブの平均的な数値だとすれば、同地区には83クラブ(PBを除く)ありますので、これを掛けると5,000kWh×83=415,000kWhとなります。クラブごとに事務局の大きさや活動レベルが異なりますが、少なくとも第2750地区全体の電力消費量は40万kWhに匹敵し、CO₂排出量は170t(400,000kWh×0.425=170,000kg)となり、仮に、すべての事務局が2%の省エネを実現すれば、3.4tのCO₂削減につながるようになります。

このように数字が出るものは、活動の成果は見やすいのですが、5大奉仕に環境側面を設定し目標に組み入れて進める活動は、定性的な要素が強く評価に難しさが伴います。そこで、CSR(企業の社会的責任)の視点から環境保全・保護への取組みを行い、成果を明らかにすることは、ロータリアンにとって理解しやすいものと考えます。この事を、RI職業奉仕推進委員長の黒田理事が「ロータリーの友」10月号で述べており、カルヤン・バネルジー国際ロータリー(RI)会長も、職業奉仕をCSRの視点で捉えることは、会員の維持・増加につながると期待を寄せています。

東京大森ロータリークラブが取組んだエコアクション21は、少なくとも日本のロータリークラブ総数2,309分の1であることは間違いのないところです。

山の手西グループ 活動通信

大船渡地区支援（グループホーム再建）に向けて

東京目黒RC 会長 松坂 秀男／幹事 高橋 邦彦／45周年記念事業実行委員長 安居 賢二

東京目黒ロータリークラブは2011－12年当初のガバナー方針に基づき東北地方復興支援にクラブ独自で支援策をとオリジナルTシャツを作り7月下旬より販売を開始した。具体的な支援先を模索していたが同クラブの安居賢二会員の出身地が岩手県大船渡市であることから7月下旬に大船渡市の被災地を視察し、ようやく始まった大船渡西RCの例会にメーキャップした。その際、現地でロータリークラブに復興支援委員会ができ市民からの要請の情報が届くことを聞き、帰省後例会にて「視察報告」又、クラブ理事会にて大船渡地区支援を決定。



その後8月下旬に大船渡西RCより活動計画書と写真集が送られてきて復興支援委員会が動き出したことを確認。

9月下旬に大船渡西RCから正式にグループホーム再建の支援要請が届き、早速10月のクラブ第4回理事会において¥2,000,000 支援すること。又、当クラブの2012年8月の45周年記念事業の一環と位置づけることを決議。財源はTシャツの収益、目黒4クラブチャリティゴルフコンペの収益2011－12のニコニコ、一部積立金を取り崩すことなども決定する。翌週 現地確認の為、大船渡市を再度視察。

生き魚「すどう」にて会議・会食



濱守委員長より状況説明を受け
当クラブも200万円の支援を申し出る



現場確認（安居会員母校の桜の木の下）

敷地面積	420㎡（127坪）
床面積	207,36㎡（62,72坪）
概要	個室×8室 共用部分
竣工	平成24年6月（予定）
総工費	約5000万円



11月には目黒4クラブ（東京目黒RC、東京城南RC、東京青山RC、東京自由が丘RC）チャリティゴルフコンペ開催も予定している。7月から10月の動きで被災地は元気だなという印象で、一番の決め手は岩手県の補助金申請が24年度からとの事で、今、困っている施設入居者は2年も待たなければならない点。地区越えた社会奉仕の実践ができたのではないかと考えている。

多摩中グループ 活動通信

社会奉仕・新世代奉仕から

東京国立RC 幹事 木島 常明

我がクラブの活動の中から、社会奉仕、新世代奉仕について幾つかをご紹介します。

○社会奉仕活動

東日本大震災支援：ひまわり栽培を広げる活動をして来た国立市観光まちづくり協会が「ひまわり栽培による除染活動で子供たちに安全を！」と、福島県須賀川市と白河市を訪問し、ひまわり栽培を行う企画を立てた。東日本震災支援活動を具体的に模索する中で、当クラブもこれに積極的に参加した。

この企画は放射線物質の除染効果が大きいと言われていたひまわりを被災地の福島県で栽培し、咲いたひまわりを見に行くことで「観光」への協力になる、という妙案である。6月中旬に種まき、8月下旬に成果の視察と2回にわたり両市を訪れ、地震・津波・原発事故・風評被害と四重苦に悩む現地の方々と交流を深めてきた。



みんなでひまわりの種まき



満開のひまわりを背に

○新世代奉仕活動

・「命の大切さ」ポスター展：いじめ、それを苦にした自殺など子供たちを取り巻く環境は決して安泰ではない。そこで、当クラブは市教育委員会に働きかけて市内公立中学校の生徒たちに「命の大切さ」を訴えるポスターを描いて貰い、市役所、市体育館で約一か月間展示することを始めた。この数年の恒例行事である。展示会場には親子連れで訪れる人たちも多く、子供たちがみんな一緒に命の大切さを考える機会になることと期待している。優秀賞を贈られた作品2点と展示場風景を紹介する。



・留学生と中学校生徒との交流会：国立市には一橋大学があり、留学生も大勢居住しているが、子供達との接触は多いとは言えない。そこで、子供たちの国際感覚醸成の一助になればと、中学生と留学生との交流会を行っている。ローテックス、ロータリアンも参加するこの交流会も今年で5回目になる。留学生には中学校の授業風景、実習状況などを見てもらい、琴の授業を行っている音楽授業の場では、留学生にも演奏を体験して貰った。給食を共にした後、留学生の学校生活についての報告、全員入り乱れてのゲームなど、お互いの文化交流にも非常に役立っている様子である。最後は場所を変えてじっくりと反省会を設定して今後の参考にしている。



IT理解のための工作実習



音楽授業で留学生も「琴」の練習

○終わりに一言

当クラブ四十余年の活動の中で、社会奉仕は主に市内の公私様々な活動計画と一体となって活発に行ってきた。行事が恒例化しているが、その中には推進の中核になって始めたものもある。年初の「塞の神どんど焼き」に始まり、さくらフェスティバル、初秋の環境フェスタ、11月の市民まつり…と多彩だが、それとは別に当ロータリークラブの独自活動で、過去数々のロータリークラブの賞も受賞している。「他人の子供を叱る運動」「ちびっ子ふれあい合宿」などいろいろあるが、活動全体として共通しているのは「子供達との触れ合いを大事にして来た」と言うことであろう。今回の東日本震災支援でも、「子供たちに最も影響の多い『放射能災害』軽減を目的とした活動から始めることとしたものである。震災支援については今後も心のこもった支援を模索していきたい。

多摩東グループ 活動通信

東京多摩RCの活動

東京多摩RC 会長 高野 隆夫

東京多摩RCでは、今年度ガバナー補佐が出ましたので、クラブとして最大の支援を行っております。10月25日多摩東グループの親睦ゴルフコンペ、11月30日インターシティミーティングがあり、職業奉仕をテーマにパネルディスカッション、田中毅様には基調講演をしていただきます。その後懇親会では、邦楽を楽しみながら親睦を深めたいと思っております。

当クラブ主催事業「多摩市中中学生俳句大会」は、多摩市および多摩市教育委員会後援をいただき、今年で7回目になります。多摩市立中学校9校の中学生約2900名の中から、約2200句の応募があり、昨年同様素晴らしい作品が集まりました。12月に表彰式、来年1月には短冊による作品展示があります。地元京王百貨店での展示なので、こちらにお越しの節は是非、中学生の力作をご覧くださいと思います。今年は東日本大震災があり、ガバナー補佐が、仙台・塩釜・いわき・小名浜の視察も行いました。現在東京府中ロータリークラブ・東京多摩ロータリークラブその他多摩東グループ内クラブとの合同で、いわき小名浜ロータリークラブを通じて、福島県有数の漁港である小名浜市いわき海星高校生徒の心の傷を癒す目的で、クラブ活動用具を寄贈し、また海に生きる人達のリーダーを育成するための海洋少年団活動支援用具を寄贈することになりました。これは地域復興の一番の支援となると思っています。またこのプロジェクトは、日本委員会に補助金申請をしており、その資金援助と各クラブのご支援で実現させていきます。資金面以外でもいわき市と多摩東グループの交流を図り、今後も息の長い支援を続けていきたいと思っています。



東京稲城RCの活動

東京稲城RC 会長 奈良部 義彦

ロータリアンの奉仕活動は幅広く、決して画一的なものではありません。個人の行為が同じ目的を持つ人たちの行動へ広がり、活動する時に会う障害を乗り越え地域の求めるものにに応じた活動をする。そのためには、目標に向かう動機づけを高め、必要に応じて自分を自発的に変え、自分の力を最大限に発揮する。挑戦意識の高い組織・自発的な意思に基づいて活動をする人・環境が大切であり、強い感動体験を得ながら自己効力感を高めることで、その活動は維持され向上します。奉仕活動の良好な環境拠点としての役目を果たす組織づくりを優先し、関連諸団体と連携を図り、円滑な奉仕活動を目指すために『超我の奉仕は成し遂げるまでの距離ではない。大切なのは超我の奉仕の第一歩』をクラブ方針に定め活動を開始しました。

稲城市の中心部を流れる見事な桜並木の三沢川に不法投棄が多く、地域住民の悩みの種の一つでした。従来であれば、看板を設置するのみでしたが、ゴミを捨てられない川環境へ。桜の花と同時期に開花する花大根を川辺に植える事により、感動を与える川へ変貌させ、不法投棄出来ない川を目標とし、5年計画で地域自治会及び関係諸団体と協働し、『捨てるな』から『捨てられない』環境づくりを目指して活動しています。

『がんばれ東北』から『がんばろう東北』へ。ロータリアンとして東日本大震災へがんばれ東北の気持ちを込め、義援金等の協力をさせて頂きましたが実感が無く、私たちは稲城市へ被災避難されている方達を招き、梨狩りやBBQを行い、被災者と共通の一時を過ごしながら歓談をする中、メンバー全員が被災者の方たちと共に、東北復活を心の中で誓い合い、本当の意味での『絆』が生まれたように思います。

今後も稲城市民祭や来春のフットサルがあります。『チャレンジが終わる時は、次のチャレンジが始まる時』を胸に今後も活動を広げてまいります。



奉仕プログラム委員会

国際奉仕委員会活動 報告

国際奉仕委員会 委員長 山下 正昭（東京八王子南RC）



東日本大震災及び津波による災害から早くも半年が過ぎ、日本全体の意識が東日本震災支援活動に向けられている。我々ロータリアンも個人、クラブ、地区からの支援も継続的に続けられることでしょう。国内の奉仕は身近に有ります。ロータリーは、世界にも目を向けよう。

ロータリー国際奉仕の基本は国際理解、親善、平和を推進するために実施する数多くのプログラムや活動を包含するものです。多くの国際奉仕プロジェクトは、発展途上国の人道的ニーズを満たすことを目的とし、また、異なる国や文化の人々に対する認識を培うことを助長することです。

地区国際奉仕委員会は、「国際人道奉仕支援委員会」「日韓短期青少年委員会」「国際友愛委員会」の3委員会で構成されます。それぞれ委員会ごとの詳細活動報告は、8月、9月号に紹介されておりますのでそれぞれのメインとなる活動を紹介します。

●国際人道奉仕支援委員会 委員長 小山田安宏(東京高輪RC)

この委員会は旧世界社会奉仕委員会として活動をしていましたが、昨年よりRIのプログラムから外されました。しかしWCSとしての活動が無くなった訳ではありません。

具体的なWCSとしては、韓国第3650地区企画の僻村地域に於いて男性の「前立腺疾患無料検診」女性の「尿失禁無料検診」プロジェクトに当地区内のクラブへの参加要請が文ガバナーからあり、当地区から5～6クラブが参加します。支援の内容は支援資金が\$8,000.～\$10,000.で、現地のツアーへの参加も期待されている。

この実施期日は10月28日、29日の両日に行われますが、この結果・成果をお知らせする機会を月信委員会にお願いしたいと思います。

●日韓短期青少年交換委員会 委員長 三原祥紀(東京三鷹RC)

この委員会は、我が地区と姉妹関係の韓国RI第3650地区とで主にインターアクターの相互交換訪問を行うプログラムです。

従来は、夏休み時期に行ってききましたが、3.11東日本大震災並びに原発事故の影響で時期が延期となり、今年度は、年末から年始にかけ、年末は日本から韓国のクリスマスを正月は韓国から日本の正月をそれぞれホームステイにて一週間の体験をさせようとするプログラムです。

●国際友愛委員会 委員長 西山 眞理子(東京青山RC)

1. 海外クラブとの友好関係や姉妹関係を持つクラブのアンケート調査と共に新たに各クラブに於いて日韓・日台・日比の関係の友好を深めるための支援を行うのを主体とします。
各クラブに於いて、韓国・台湾・フィリピン等のクラブと姉妹・友好クラブをとの計画がありましたら、ご相談ください。
2. 11月10日～13日に行われる韓国第3650地区 地区大会への参加呼びかけ、並びに支援を行っている。
又、当地区の地区大会における韓国側への支援も行います。
3. 2012年6月10日に京都で開催される日台親善会議への参加呼びかけもこれから行われます。

広報委員会

意義ある活動を目指して II

広報委員会 委員長 岡 常吉（東京日本橋RC）

ガバナー月信9月号でも報告させて頂きましたが、第2750地区広報活動のニュースソースとして意義ある活動と確信し、提案した養蜂事案に関してまず現状報告させて頂きます。

広報委員会は地区の統一活動の代わりに、要望のあったクラブに対し出張講義を実施しております。都内の幼稚園・小学校など10数校に出張講義を行ったことを皮切りに、銀座中学校からも養蜂活動を行いたいとの要請で、養蜂指導を実施致しました。今後益々この出張講義を契機に養蜂活動を行う学校等が増えるのではないかと期待いたしております。

また徳島県の阿南ロータリークラブでの卓話や東北地方での復興イベントへの支援など養蜂活動による人の輪の拡がりに大きな可能性を感じております。当活動に関心のあるクラブからのご要望をお待ちしております。出張講義のご説明にも伺います。この意義ある活動を2012－2013年度の広報委員会にも是非引き続いて取り組んで頂きたいと考えています。

RIから、ポリオ撲滅の日が近づき、ロータリークラブの功績を世に問うチャンスに際し、準備を進めてほしい旨伝達がありました。私どもが企画中の各クラブがイベント等で使用できるようなロータリーポスターにもその意思を反映させるべく、各種デザイン案の中から選考中です。11月中にも決定し、年内にお披露目できるよう取り組んで参ります。

東京マラソンは来年2月26日に開催されます。本年度と変わらず35km地点で給水ボランティア活動を行います。200名の参加を東京マラソン財団に申請致しました。詳細については検討中ではございますが、アクトクラブの皆様に協力要請を行う予定です。その際は是非ご協力をお願いしたいと考えております。



東京マラソン給水ボランティア



銀座で養蜂



幼稚園・小学校での養蜂出張講義

委員会紹介

補助金委員会 紹介

補助金委員会 委員長 安保 満 (東京昭島RC)

補助金委員会は各クラブが申請する補助金(DSG、MG)の良きアドバイザーです。補助金の対象となるプロジェクトか否かの判断や補助金対象のプロジェクトとするための工夫、補助金申請書の記入方法や報告書の作成方法等、補助金に関する事ならお気軽に補助金委員会にご相談下さい。各グループを担当する補助金委員が懇切丁寧に皆様方に対応します。また、東日本震災復興基金を利用した被災地支援プロジェクトの申請に関しても補助金委員会で相談を承ります。※各グループ担当の補助金委員は下記の通りです。

■千代田グループ、銀座・日本橋グループ

曾我 道治(東京西)、百田 晶子(東京武蔵国分寺)

■京浜グループ

石井 弘(東京品川中央)

■山の手東グループ・山の手西グループ

西村 弘之(東京世田谷)、鈴木 明彦(東京世田谷南)

■多摩東グループ、多摩中グループ、多摩南グループ

杉山 勲(東京町田)、比留間 章光(東京昭島中央)

■PBG 坂元 吉裕(ガムサンライズ)

■委員長(総括)、副委員長(MG担当) 委員長 安保 満(東京昭島)、副委員長 加藤 書久(東京西南)

地区補助金(DSG)は10月時点で12件の申請が承認されております。本年度DSGの地区予算は59,358ドルです。残金は21,000ドル以上御座いますが、申請の予定があるクラブはどうぞお早めにグループ担当の補助金委員までご相談下さい。

マッチング・グラント(MG)は10月時点で2件の地区DDF申請が承認されております。MGのための地区DDF予算額の残金は充分御座いますが、申請の予定があるクラブはどうぞお早めにMG担当の加藤副委員長(東京西南)、または西村委員(東京世田谷)までご相談下さい。

地区補助金(DSG)とマッチング・グラント(MG)の説明及び申請用紙は第2750地区ホームページ「各委員会からの資料」の中に掲載されております。補助金の対象となるプロジェクトの条件や拠出される補助金額の計算方法等も記載されておりますので、申請書を作成する際は参考にして下さい。



寄付増進委員会 紹介

寄付増進委員会 委員長 根岸 浩秀 (東京シティ日本橋RC)

ロータリー財団への寄付増進のお願い

11月はロータリー財団月間です。

アーチ・C・クラフ第6代RI会長は、すべてのロータリアンが参加できる世界的な規模の「教育への貢献、そして社会奉仕の分野で役立つ為の基金」を目指し、1917年のアトランタ国際大会で「ロータリー基金」の創設を提案しました。

ロータリー財団は、国際ロータリーの掲げる使命を具体的に実現するためのもので、全世界のロータリアンの善意と熱意で毎年順調に発展してきました。

ロータリー財団の主なプログラムは、人道的プログラム、教育的プログラム、そしてポリオプラスプログラムの3つに大別されます。人道的プログラムには地区補助金、マッチング・グラント等があり、教育的プログラムには、国際親善奨学金、研究グループ交換(GSE)、ロータリー平和フェローシップ等があります。

片倉ガバナーは、これらのプログラムを支援するために、地区の重点目標として次の通り掲げられました。

年次寄付 1人 100ドル以上

ベネファクター (恒久基金への寄付が1,000ドルに達する者)

会員 100名以上のクラブ 2人以上

会員 99名以下のクラブ 1名以上

大口寄付者(ロータリー財団への寄付累計額が10,000ドルに達する者)地区で5名以上

ポリオプラス指定寄付 1クラブ 1,000ドル以上

年次寄付は、1,000ドル以上寄付をすると「ポール・ハリス・フェロー」の称号が与えられます。この年次寄付は、3年後にシェア・システムにより国際活動資金(WF)と地区活動資金(DDF)とに50:50の割合で分けられ世界中の奉仕プロジェクトに使われます。そして財団の運営費等は、この3年間の運用益により賄われその残額も活動資金にまわされます。

恒久基金は、1,000ドル以上寄付すると「ベネファクター」の称号が与えられます。この恒久基金は、皆様からの寄付を基金として積み上げ、運用益のみを使用します。この運用益は多くは内部留保金として蓄積し、その他に奉仕プロジェクトに使用したり、運営費等に充てたりしています。

これらの寄付の合計額が10,000ドルを超えた寄付者は、大口寄付者(メジャードナー)となります。

3年後の財団活動資金のために、また恒久基金の積み上げのためにご協力賜われますようお願い申し上げます。

委員会紹介

ロータリー平和フェローシップ委員会 紹介

ロータリー平和フェローシップ委員会 委員長 萩原 道雄（東京世田谷南RC）

歴史上、戦争や紛争がなかった年は皆無だと思われます。この50年間で戦争に係らなかった国はほとんどないと言ってよいでしょう。だからこそ、世界の平和と紛争解決に最大の努力を我々は払わなければなりません。

ロータリー平和フェローシップ・プログラムは世界の平和と紛争解決に邁進するリーダーを養成する修士レベルの奨学制度(1.5年～2年)です。国際ロータリー財団が元締めですが、リーダーを養成する大学(ロータリー平和センター)は世界で日本、米国(2大学)、英国、アルゼンチン、オーストラリア、スウェーデン、タイ(短期)にあります。日本のロータリー平和センターは国際基督教大学(ICU)です。奨学生をロータリー平和フェローと呼びますが、旅費、滞在費、学資が国際ロータリー財団から支給されます。日本からの派遣ロータリー平和フェローは21名(1期生～10期生)います。

ロータリー平和フェローシップ・プログラムを推進するために2750地区を幹事役として隣接の5地区と共にネットワークを作り、活動を行っています。実行委員会がロータリー平和フェローシップ委員会

で、①ロータリー平和フェローシップ・プログラムの啓蒙とロータリー平和フェロー志願者の発掘と手続き、②ICUロータリー平和センターと協力して各種行事の企画・推進、ならびに在学ロータリー平和フェローへのカウンセリングやフェローとロータリアンとの交流の推進、③派遣ロータリー平和フェローのカウンセリングが主な活動内容です。



ICU 第10期ロータリー平和フェロー・オリエンテーション、懇親会 10期生9名+9期生3名 2011年9月10日

ロータリー財団奨学・GSE・学友委員会 紹介

ロータリー財団奨学・GSE・学友委員会 委員長 鈴木 剛（東京渋谷RC）

ロータリー財団奨学・GSE・学友委員会は鈴木委員長以下7名で構成されております。活動の内容はロータリー財団国際親善奨学生の派遣および受入、GSE（グループ・スタディー・エクスチェンジ）の派遣および受入、そして上記の2つに加えてロータリー平和センターの3つのプログラム修了者である学友の活動支援を行うことです。

国際親善奨学生は本年度派遣2011～12年度奨学生を派遣・受入を行います。東日本大震災の影響で、派遣1名受入はゼロとなりました。現在申請中の2012～2013年度派遣生と合わせて8名が来年夏秋に派遣されることとなります。

本年度は2013～2014年度奨学生の募集を行う年度ですが、ロータリー財団の「未来の夢」計画の実施年度となりますので新しい制度の下に奨学生を募集することとなりますので今年度は募集を行いません

GSEは昨年度米国シカゴ地区と研修交換を行いました。本年度は実施いたしません、来年度については実施する方向で検討を進めております。

学友について当地区は現在お隣の第2580地区とともに「ロータリー・フェローズ・トウキョウ」という学友組織を支援しております。春の著名な学友の講演を聞く会と秋のロータリー平和フェローおよび受入国際親善奨学生との交流会の開催のほかに地区活動の協力、クラブの卓話等様々な活動を行っております。なお、大震災を経験し横の連絡性を緊密にするために学友会の全国組織が10月30日に結成されました。



委員会紹介

ポリオ・プラス委員会 紹介

ポリオ・プラス委員会 委員長 清原 元輔

ポリオ撲滅まであと一歩

ポリオ(脊髄性小児まひ)は、ポリオウイルスによる伝染病です。
主に5歳未満の幼児がこの病に冒されます。

ポリオは身体を麻痺させ、ウイルスが脳幹に入れば運動ニューロンを侵し、呼吸困難や死亡に至るケースさえあります。

ポリオ感染後の後遺症による麻痺障害を治療で治すことはほとんど不可能です。

最善の対策は、予防です。@60セント(約¥48)のワクチンで一人の子供をこの疾病から一生守ることが出来るのです。

ポリオ撲滅がされなければ、今後40年間で約1000万人以上の子供たちがこの小児麻痺を患うことになるかと推測されています。

国際ロータリーは、ポリオ撲滅に1985年から取り組んでおり、あと一歩のところに来ています。これまで百万人以上のロータリアンが122カ国においてボランティア活動を展開して来ています。

国際ロータリー(RI)は、世界保健機構(WHO)、米国疫病対策センター(CDC)、国連児童基金(ユニセフ UNICEF)の3機関と協力しポリオ撲滅運動を推進しています。現在99%まで撲滅し残り1%を撲滅するために頑張っています。

ロータリアンの皆様 『ポリオ撲滅への寄付にご協力ください』

ポリオ撲滅2億ドル チャレンジもあと1歩です。

2011年6月30日現在で1億9000万ドルになりました。

ポリオ常在国(アフガニスタン、パキスタン、インド、ナイジェリア)4カ国には、いまだ野生ポリオウイルスが残存しています。

また、アフリカのコンゴ共和国やガボン、ギアナ、マリ、コートジボアール等で、ポリオウイルスが復活の兆しを見せ始めています。

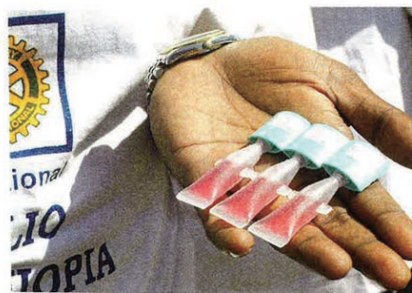
なんとしても、ポリオ撲滅運動を完結し、ポリオの脅威から子供たちを守ろうではありませんか。¥48で一人の子供を守れます。各クラブ1000ドルのご寄付を頂ければ、効果は絶大で1クラブで1600人の子供達を守れます。

なんと素晴らしい、ロータリークラブらしい貢献であります。

RI2750地区では、2011年9月末現在 \$552,418の寄付を行いました。

片倉年度においては、16クラブの皆さんから寄付を頂きました。残り75クラブの皆様からの寄付をお待ちしております。よろしくお願いします。

世界中の子供たちの安全・安心のために皆様の温かいご理解とご協力をお願いします。

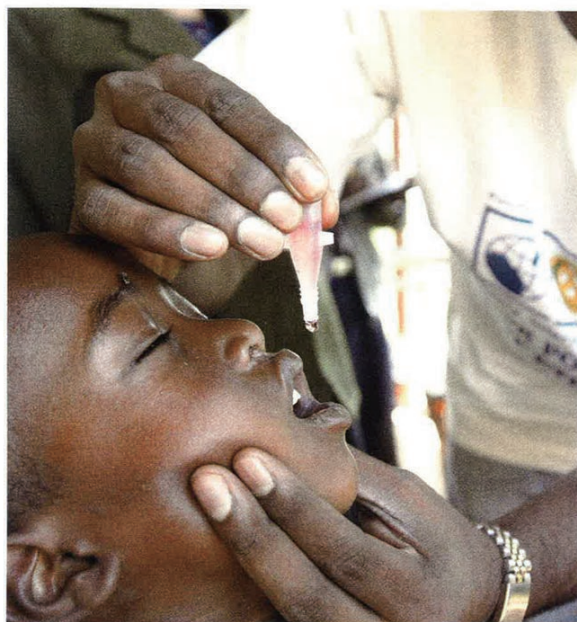


ポリオ撲滅まで あと一歩！！

ポリオワクチン

1個60セント

(@¥48)



この数滴で子供達を脅威から守ります。



米山功労者ご紹介

ご協力を感謝いたします

米山功労者

岩尾 崇君	東京芝	2011.9.5	1
御手洗美智子君	東京広尾	2011.9.5	8
土田 良平君	東京城西	2011.9.6	2
高取 良雄君	東京みなと	2011.9.7	2
木村 良君	東京銀座	2011.9.8	3
佐藤 勇二君	東京蒲田	2011.9.8	7
森谷 晴一君	東京昭島	2011.9.8	5
高野 隆夫君	東京多摩	2011.9.8	4
新 悟君	東京中央	2011.9.9	1
坂田 貞夫君	東京品川中央	2011.9.9	5
山本 和巳君	東京品川中央	2011.9.9	6
樋口 素生君	東京世田谷南	2011.9.14	5
菅野谷信宏君	東京蒲田	2011.9.15	10
河辺美奈子君	東京銀座	2011.9.22	3
安保 満君	東京昭島	2011.9.22	2
村山 恒夫君	東京昭島	2011.9.22	4
小林 誠治君	東京多摩	2011.9.22	4
中島 武君	東京武蔵府中	2011.9.22	4
米屋 博行君	東京芝	2011.9.29	1
常磐津英寿君	東京銀座	2011.9.29	1
中島 巖君	東京銀座	2011.9.29	3
永山 治君	東京銀座	2011.9.29	2
服部禮次郎君	東京銀座	2011.9.29	14
向山 英雄君	東京昭島	2011.9.29	1
笠原 正博君	東京蒲田	2011.9.30	3
松坂 秀男君	東京目黒	2011.9.30	9

ポール・ハリス・フェローご紹介

◎はマルチプル
ご協力を感謝いたします

中村 真一君	東京恵比寿	9月
◎ 安保 満君	東京昭島	9月

新ベネファクターご紹介

ご協力を感謝いたします

海老澤猛夫君	東京井の頭	9月
佐藤 仁君	東京京浜	9月
直井 忠義君	東京世田谷南	9月
山本 光俊君	東京品川	9月
町田 弘君	東京立川	9月
内山 聖君	東京芝	9月

日本事務局 財団室よりのご伝言：

現在、ロータリー財団ではデータベースの見直しをしており、一部の寄付のデータがまだ入っていないため、今回のリストは暫定のものとなりますので、ご了承ください。

文庫通信 (289号)



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演より

- ◎「有田の伝統を語る(対談)」
14代 酒井田柿右衛門 2011 7p (D. 2740)
- ◎「夢を創る」
安藤忠雄 2011 4p (D. 2580)
- ◎「一隅を照らす」
半田孝淳天台座主 2011 6p (D. 2600)
- ◎「遺言書を書いて千日回峰行」
上原行照師大阿闍梨 2011 5p (D. 2600)
- ◎「いくつもの壁にぶつかりながら」
『19歳・児童売春撲滅への挑戦』
村田早耶香 2011 4p (D. 2780)
- ◎「日本のこれから、日本人のこれから」
藤原正彦 [2011] 16p (D. 2530)
- ◎「アジア大交流時代の幕開けと日本人」
浜田和幸 2011 7p (D. 2560)
- ◎「ソフトパワー大国を目指して～山形からの可能性」
結城章夫 [2011] 7p (D. 2800)
- ◎「CO₂貯留研究の現状と課題」
村井重夫 [2011] 12p (D. 2800)

上記申込先：ロータリー文庫

〒105-0011
東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp

開館
午前10時～午後5時
休館
土・日・祝祭日

深く哀悼の意を表し御冥福を祈ります



漆島 嗣治 (東京築地RC)
2011年8月21日逝去 (享年69歳)
1988年1月11日入会
2007-08年 クラブ幹事
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者



吉村 正雄 (東京品川RC)
2011年9月8日逝去 (享年79歳)
1977年2月3日入会
第35期(1995-1996) 幹事
ポール・ハリス・フェロー (マルチプル)
ベネファクター
米山功労者 (マルチプル)



中島 富治 (東京立川RC)
2011年9月9日逝去 (享年93歳)
1971年10月1日入会
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者3回
1983-84年 24代目 クラブ会長

★国際ロータリー第2750地区出席報告 (9月分)★ District 2750 Membership Attendance Report September 2011

区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数			区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数					
				11年7月1日	11年9月末	増減					11年7月1日	11年9月末	増減			
千代田グループ	東 京 南	5	72.60	181	182	1	多摩南グループ	東 京 八 王 子	5	89.98	54	56	2			
	東 京 芝	4	89.76	92	92	0		東 京 町 田	4	74.13	54	56	2			
	東 京 新 橋	4	72.90	51	54	3		東 京 日 野	4	79.84	34	34	0			
	東 京 赤 坂	4	77.00	43	43	0		東 京 八 王 子 西	4	87.22	69	73	4			
	東 京 み な と	4	86.86	46	46	0		東 京 町 田 ・ 中	4	76.29	36	37	1			
	東 京 レ イ ン ボ ー	3	75.00	32	32	0		東 京 八 王 子 東	4	78.57	20	21	1			
銀座・日本橋グループ	東 京 麻 布	4	70.00	20	20	0	東 京 八 王 子 南	4	88.16	58	58	0				
	東 京 銀 座	4	79.95	157	159	2	東京町田サルビア	5	84.00	22	22	0				
	東 京 日 本 橋	4	77.52	175	182	7	東 京 飛 火 野	4	79.46	28	28	0				
	東 京 築 地	3	85.55	69	70	1	東 京 町 田 東	4	73.00	25	26	1				
	東京日本橋東	3	78.01	47	46	-1	東 京 八 王 子 北	4	80.92	37	38	1				
	東 京 中 央	4	81.60	216	214	-2	東 京 立 川	4	96.66	98	99	1				
	東京日本橋西	4	85.71	41	42	1	東 京 小 金 井	5	92.02	33	33	0				
	東京銀座新	4	80.07	68	69	1	東 京 国 分 寺	4	91.55	41	42	1				
	東京シティ日本橋	4	80.23	47	47	0	東 京 三 鷹	4	76.00	37	37	0				
	東 京 中 央 新	3	65.60	40	40	0	東 京 昭 島	5	73.88	46	49	3				
京浜グループ	東 京 羽 田	4	74.25	42	43	1	東 京 国 立	4	97.69	49	50	1				
	東 京 品 川	4	87.98	56	56	0	東京立川こぶし	4	93.13	81	81	0				
	東 京 大 森	4	94.59	46	46	0	東 京 井 の 頭	3	95.50	21	22	1				
	東京品川中央	4	79.90	55	55	0	東 京 昭 島 中 央	3	78.00	41	43	2				
	東 京 大 井	3	72.22	18	18	0	東京武蔵国分寺	3	87.00	47	49	2				
	東京田園調布	4	81.43	48	49	1	東京小金井さくら	4	79.35	23	23	0				
	東 京 港 南	4	75.00	17	18	1	東京国立白うめ	3	88.49	22	23	1				
	東 京 大 崎	4	88.63	35	33	-2	東 京 府 中	4	73.66	60	61	1				
	東京蒲田	3	92.72	62	61	-1	東 京 調 布	3	81.70	60	60	0				
	東 京 京 浜	3	83.33	21	22	1	東 京 多 摩	4	79.81	25	26	1				
	東京田園調布緑	4	83.63	26	26	0	東 京 狛 江	4	88.18	29	29	0				
	東京マリーナ	4	78.85	13	13	0	東 京 稲 城	5	82.50	27	27	0				
	東 京 白 金	3	85.90	25	26	1	東 京 武 蔵 府 中	4	78.12	53	54	1				
	東 京 高 輪	2	80.43	22	23	1	東 京 た ま が わ	3	77.00	25	25	0				
山の手東グループ	東 京 西	4	81.21	154	154	0	東京多摩グリーン	4	79.46	34	34	0				
	東 京 城 西	4	76.14	73	72	-1	東京調布むらさき	4	90.17	78	80	2				
	東 京 西 南	4	91.10	49	50	1	東 京 i シ テ ィ	3	77.33	25	25	0				
	東 京 原 宿	4	78.26	23	23	0	Guam	5	46.00	75	75	0				
	東京杉並	4	74.55	39	39	0	Saipan	4	67.22	43	45	2				
	東 京 神 宮	4	70.69	28	29	1	Tumon Bay	4	47.24	86	83	-3				
	東 京 恵 比 寿	3	86.60	90	93	3	Northern Guam	3	49.00	34	34	0				
	東 京 広 尾	5	83.33	18	18	0	Pohnpei	5	29.00	23	23	0				
	東 京 渋谷	3	69.89	32	33	1	Palau	4	62.50	20	18	-2				
	東京六本木	3	72.00	50	52	2	Guam-Sunrise	4	41.00	30	31	1				
山の手西グループ	東 京 世 田 谷	4	88.18	57	59	2	Truk Lagoon	4	33.00	11	15	4				
	東 京 目 黒	4	88.96	43	43	0	国内84クラブ計			4,199	4,264	65				
	東 京 成 城	4	88.37	21	21	0	地区92クラブ計			4,521	4,588	67				
	東 京 世 田 谷 南	4	79.00	95	97	2	千代田グループ	77.73	多摩南グループ	81.05						
	東 京 城 南	2	68.00	31	33	2										
	東 京 山 の 手	4	83.33	61	63	2										
	東 京 成 城 新	5	82.54	38	38	0										
	東 京 青 山	4	79.00	29	29	0										
	東 京 自 由 が 丘	5	87.55	19	20	1										
	東 京 世 田 谷 中 央	4	78.65	16	19	3	銀座・日本橋グループ	79.36	多摩中グループ	87.44						
	東 京 米 山 友 愛	5	79.17	30	31	1										
						京浜グループ					82.78	多摩東グループ	80.79			
														山の手東グループ	78.38	P B グ ル ー プ

編集後記

ガバナーより公式訪問が順調に進むなか、沢山の奉仕プログラムのご紹介がありました。また、各クラブの復興支援プログラムの取り組みのご紹介も一つ一つがロータリーの精神に溢れ、復興へ素晴らしい展開を感じさせてくれます。多くのロータリアンが奉仕の機会を国内外に見出し多様な取り組みをなさっていることに感動と感謝しきり

です。そのような素晴らしい皆様の活動を一刻も早く沢山のの方に御紹介させていただきたいと存じます。

お忙しい中と重々承知の上ではございますが、ご寄稿も早めにご協力お願いいたします。最後に今月も皆様に幸多からんことをお祈りしております。

2011-12年度ガバナー月信・IT委員会 委員 羽田 伊助 (東京目黒RC)

国際ロータリー第2750地区 2011-12年 ガバナー 片倉 章雄

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2011-12 Governor Akio Katakura

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行：ガバナー 片倉 章雄(2011-12) © Akio Katakura 2011

編集・制作：ガバナー月信・IT委員会 委員長 望月 耕次 副委員長 木村 清信 副委員長 河村 勝久 副委員長 竹平 時彦
Andrew WONG 田中 廣 山見 真弘 永田 有利恵 堀口 昇治 石黒 重徳 織田 ゆり子 羽田 伊助 森本 行俊 清野 修一
浅見 省三 坂場 一隆 Brian McDERMOTT

ホームページアドレス

<http://www.ri2750.org/>